

生成AIコンソーシアム Generative AI consortium 2023

～ビジネス変革の可能性とルール～

企画趣意書



V1.0

経済・社会の課題解決テクノロジーとして注目される近年の人工知能（AI）のなかで画像・音声・自然言語処理の分野は2020年から急速に進化しています。昨年11月にOpenAIが発表した高精度言語AI「GPT-3」はより自然な対話を実現し、公開から2か月で1億ユーザを集め、ビジネス・社会での注目が高まっています。さらに米国スタートアップでも文章や画像を自動生成するAIへの投資が活発になっており、オープンイノベーションの成長の起爆剤となっています。

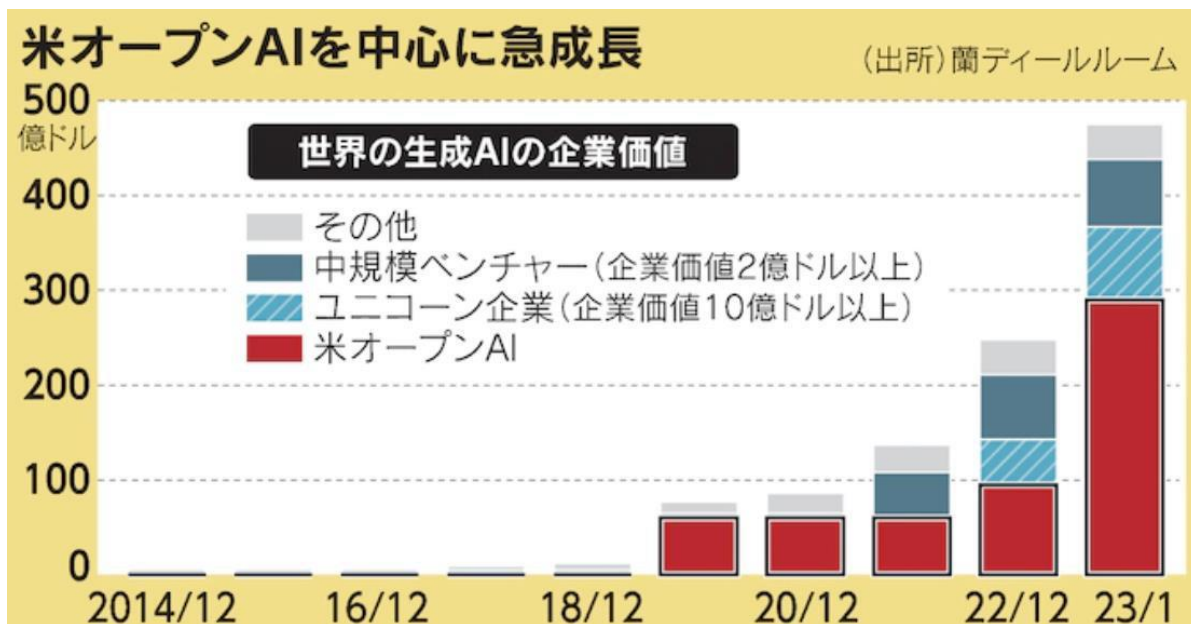
このような生成AI（ジェネレーティブAI）はこれからのビジネスに大きなインパクトを与え、より幅広く社会課題を解決し人間の創造性を高める貢献が期待されます。その一方で新規ビジネスや業務において生成AIを活用するためのガイドラインなどの議論の必要性は大きくなっています。

2023年度日本経済新聞社は「生成AIコンソーシアム」を発足させ、そのポテンシャル、活用策やルール、規制のあり方を議論します。

本コンソーシアムでは生成AIを用いてサービスを作る事業者、さらに広くAIビジネスに取り組む企業や研究機関、プラットフォーム、行政、スタートアップなどに参加いただき、2023年6月のキックオフイベントを契機に2024年3月まで3回程度の非公開コミュニティで生成AIに関する最新情報をアップデートし、ビジネスで求められる論点を整理し相互交流を深めてまいります。

“労働力や生産性を補うAI 日本も効果的な活用を”

- ・世界の生成AI企業の価値は480億ドルと2年で6倍に拡大
- ・生成AI企業への22年の投資額は21億ドルで20年比10倍に
- ・長所と短所を見据え、いかに活用していくかが問われている



22年の生成AI企業への投資額は世界で21億ドルと20年に比べて10倍に急拡大した。
(出所：日経電子版2月26日)



- 簡単に使えて役に立つ
- 使える人を限らない、使える場面が広い
- 人間の認知機能のなかで「情報伝達性（伝達力×伝達容易性）」では言語が圧倒的に優位



ビジネス活用の創造性と行動力がより求められる時代に

生成AIの出現により大きく仕事のやり方が変わる。AIの「新しい時代」に入りました。この技術によって変化が起こり、資金も人も動き始めます。以下のようなビジネス機会を考えます。

1. 利用範囲が広く、ビジネス全般への影響が大きい

生成AIのAPIを使って業務分野に特化した専用アプリが数多く発表され、テック市場が成長していく。プログラミングの工数削減など国内でもスタートアップ成長の起爆剤となる。

2. 使う人を限らないため、大企業の業務効率化が一気に進む

テキストの音声変換などと連携したコールセンターでの導入など、自然言語による指示ができることは人手の作業を劇的に減らし一段の効率化をもたらすポテンシャルがある。

3. ルールメイキングとガバナンス

生成AIのビジネス導入には一定のルールが必要。機密情報の扱いや著作権などリスクを確認し、適切な監視と組織といったガバナンス等のルールを策定する際のガイドラインを提言する。

4. 将来への仕事の変化

ホワイトカラーの仕事の自動化と効率化が進む時代に求められる新しいスキルや職業的な強みを導きたい。AIと人間が協調して働く方法を考えたい。

- (1) 「生成AIの最新動向と新たなビジネス機会」をテーマにしたシンポジウムを6月、2024年1月の2回開催します。
6月のキックオフシンポジウムでは生成AIテクノロジーのインパクトとその可能性を打ち出し、ルールメイキングへの方向性を提示します。
- (2) 「生成AIコミュニティ会合」を年度内に3回開催します。最新情報の共有のほか、協賛企業、有識者、行政、スタートアップが参加しポジティブで濃密なディスカッションを展開し、テクノロジーとビジネスに関わる課題を抽出します。
- (3) 2回のシンポジウムは日本経済新聞で採録し、日経電子版Bizgateでも希望記事を公開します。さらに協賛オプションを使つての日経紙面・記事体広告掲載ができます。
- (4) AIは幅広い社会課題をビジネスの対象としています。日経主催のテック系イベント、SUMシリーズにリアル出展してビジネス関係者との交流やプロモーションができます。
(9月超DXサミット[エネルギー、気候変動]、12月ヘルステックサミット[医療、ヘルスケア]、2024年3月フィンサム[金融])

キックオフシンポジウム

名 称	NIKKEI生成AIシンポジウム ～ビジネス変革の可能性とルール～
主 催	日本経済新聞社
後 援	デジタル庁 日本経済団体連合会ほか（予定）
協 賛	8社想定（当初メンバー）
会 場	日経ホール（東京・千代田区）
日 程	2023年6月13日（火） 9:30～16:30(予定)
プログラム	基調講演、特別講演、パネル討論、企業プレゼンテーション
開催方法	リアルとオンライン配信を組み合わせたハイブリッド開催
来場者・視聴者	（事前登録制・無料）申し込み1,000人、来場500人、視聴回数10000UU見込み
対 象	AIに関心のあるビジネス層全般、行政、スタートアップ、金融

各産業でイノベーションに取り組む企業リーダー、有識者、行政関係者、テック企業などビジネス領域においてエコシステムを形成するステークホルダーが一堂に会し発言を幅広く発信します。次々にアップデートされるテック情報がシェアされることで新たなビジネス創造機会をつくります。さらにビジネス上の課題について議論しソリューションを導きます。

(キックオフ) 2023年6月13日 (火) 開催

(想定されるテーマ)

- ・生成AI情報アップデート～大規模言語モデルLLM、画像生成
- ・AIのインパクト～ワークスタイル変革、金融、医療、エンタメ
- ・レギュレーション・ルールの方向性

(ファイナル) 2024年1月開催

(想定されるテーマ)

- ・生成AI情報アップデート
- ・API連携で拡大するユースケース
- ・AIスタートアップとエコシステムの進化
- ・グローバルなルールと日本の戦略



有識者案 (敬称略)

コアメンバー



生成AIコンソーシアム
アドバイザー

松尾豊
東京大学大学院工学系研究
科教授



三部 裕幸

渥美坂井法律事務所・外国法共
同事業 パートナー
弁護士・ニューヨーク州弁護士
大阪大学招聘教授



柳川 範之
東京大学
大学院経済学研究科
教授



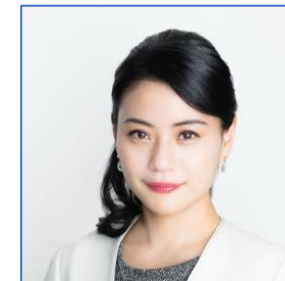
楠正憲
デジタル庁統括官



塩崎 彰久
衆議院議員
自由民主党
デジタル社会推進本部
web3 PT事務局長



南 知果
経済産業省
大臣官房スタートアップ
創出推進室
総括企画調整官・弁護士



平野未来
シナモン CEO



中条薫
SoW Insight 社長
東京大学 未来ビジョン
研究センター 客員研究
員

日経のSUMシリーズなどで構築したネットワークを駆使し、
求められるトピックに詳しい有識者を招へいしていきます

AI分野の急速なテクノロジーの進化にキャッチアップするためには、最新情報の獲得は欠かせません。本コンソーシアムではグローバル視点での情報共有と意見交換のためのコミュニティを組成します。

○リアル会合の開催予定

2023年7月、2023年10月、2024年2月（予定）
都内、各2時間の予定

○出席予定者

ファシリテーター、有識者、行政、協賛企業1社1名
スタートアップ・オブザーバー

協賛企業がプレゼンテーションを実施する場合、ご希望により主催者で取材し日経電子版Bizgateでその模様を発信することができます。



協賛パッケージ



協賛クラス		Platinum	Gold	Silver	Bronze	
協賛金額（税抜き）		3000万円	2000万円	1000万円	500万円	
選択可能オプション数（基本メニュー以外）		6	4	2	1	
シンポジウム 6月 1月	講演枠（20分）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> （6月）
	協賛セッション開催（40分）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—	—	—
	パネルセッション登壇1名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> （6月）
コミュニティ	コミュニティ会合に参加(主催者枠以外の人数)	基本(1名)	基本(1名)	基本(1名)	—	
メディア	日経紙面広告	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—	—	
	日経電子版BizGate特集内記事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—	
	日経電子版タイアップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—	—	
	告知広告・採録特集での企業ロゴ掲載	基本	基本	基本	基本（6月開催）	
マーケティング	シンポジウム特別展示（2社限定）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—	—	
	展示（9月超DX、12月ヘルステック、3月フィンテック）1回出展	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—	
	イベント申込者同意者リスト提供（要書面）	基本	基本	基本	基本（6月分）	

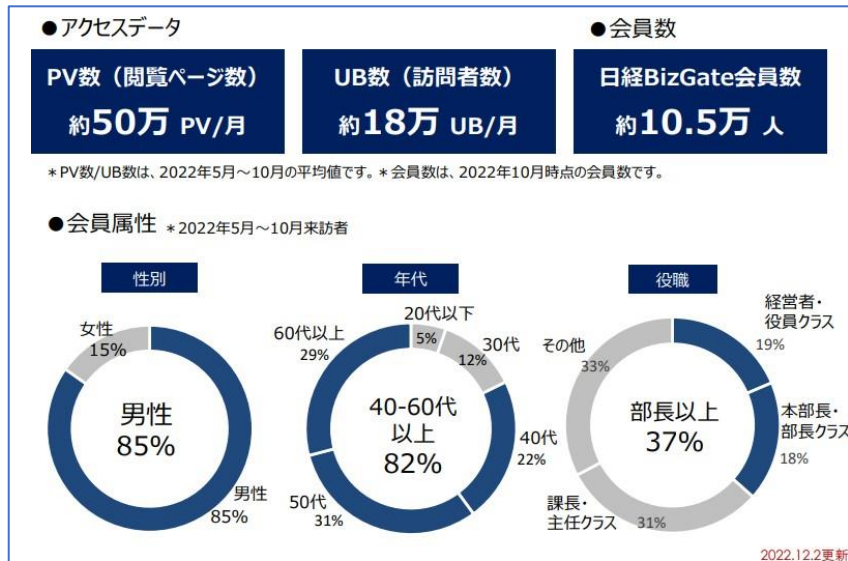
年間スケジュール

	2023/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024/1月	2月	3月	(4月)
シンポジウム開催			キックオフ							Final			
コミュニティ				東京会合			東京会合				東京会合		
メディア（日経紙面）	公式サイト立ち上げ	開催告知		採録特集					開催告知		採録特集		
メディア(電子版Bizgate)				採録記事	レポート			東京会合レポート			採録記事	東京会合レポート	
出展できるイベント						超DXサミット（日本橋）			ヘルステックサミット（日本橋）			フィンテックサミット（丸の内）	

日経Bizgate（電子版）は「課題解決への扉を開く」ビジネスパーソンが日々直面する課題の解決に役立つ情報メディアです。

<https://bizgate.nikkei.co.jp>

議論の内容は同サイト特集内で記事（2000文字程度）を掲載します。
ゴールド以上の協賛では日経電子版タイアップでの情報発信もできます。



The screenshot shows the Nikkei BizGate website interface. The main article is titled "ヘルステックサミット" (Health Tech Summit) and features a photo of two women in front of an Amvis logo. Below the photo, there's a section for "アンビス、医療施設型ホスピス「医館」で挑む社会課題" (Amvis, social issues tackled in hospital-type hospice 'Ikan'). The article discusses digital growth in the medical and hospice markets and the use of health tech. There are also social media sharing icons for B! and Twitter.

Below the main article, there's a "記事一覧" (Article List) section with several other articles, including "第一生命、健康医療領域での社会課題解決に取り組む" (First Life, tackling social issues in health care) and "ライフログを活用したサービスの提供と行動変容の未来" (Future of service provision and behavior change using life logs).

On the right side, there's a sidebar with a "日経BizGate" logo and a search bar. Below that, there's a section for "日経メタバースプロジェクト" (Nikkei Metaverse Project) featuring an article by 小室哲哉氏 (Tetsuya Komuro) titled "360度音響が高めるメタバースの没入感" (Immersion in metaverse enhanced by 360-degree audio). The article discusses the use of AR and HMDs for immersive experiences and mentions a 360-degree audio technology called "360 Reality Audio". There's also a photo of a panel discussion and a list of participants including 小室 哲哉氏 (Tetsuya Komuro), 渡辺 忠敬氏 (Chikage Watanabe), 原田 しずお氏 (Shozo Harada), and 聞き手 山田 剛 (Tsuyoshi Yamada).

ご留意事項

- (1) 編集記事（PR表記無し）は弊社から記事PDFをお送りして名数だけ確認いただきます
- (2) PR表記のある記事の場合はPDFとワードをお送りし、名数以外の修正にも応じます

日経のオープンイノベーションイベント、SUMシリーズは2023年リアル展示を充実させます。いずれかのイベントでリアルブースを出展いただき、各業種のイノベーターとの接点を提供します（ブロンズ協賛）。各イベントでの展示以外のメニューを活用いただく場合には別途ご提案となります。



Super DX/SUM

Digital Transformation Summit

9月5～7日開催（東京・日本橋）

超DXサミット
業務DX、気候変動、農業、エネルギー分野
[2022開催の登録者3,468名 視聴25,318回]



12月11-12日開催（東京・日本橋）

ヘルステックサミット
予防/未病、看護/介護、創薬、ヘルスケア、医療分野
[2022開催の登録者2,897名 視聴9,237UU]



2024年3月5～8日開催（東京・丸の内）

フィンテックサミット
デジタル通貨・決済、認証、金融サービス分野
[2022開催の登録者3,964名 視聴28,328回]

